

1 学校給食の概要

○学校給食実施状況等調査結果（平成29年5月1日現在）

（1）給食形態別実施状況

県内の公立学校で学校給食を受けている児童・生徒数は約16万7千人であり、平成28年度に比べて約2.1%の減少です。

区 分	児童・生徒数(人)	完全給食(人)	補食給食(人)	ミルク給食(人)
小 学 校	108,003	107,769		
	(109,629)	(109,489)		
中 学 校	56,432	55,612		471
	(58,089)	(57,533)		(469)
義 務 教 育 学 校	650	645		
	(579)	(576)		
小 計	165,085	164,026		471
	(168,297)	(167,598)		(469)
特 別 支 援 学 校	2,549	2,043		18
	(2,514)	(2,047)		(16)
夜間定時制高等学校	804	210	104	
	(831)	(266)	(92)	
計	168,438	166,279	104	489
	(171,642)	(169,911)	(92)	(485)

（ ）内は、平成28年度（平成28年5月1日現在）の数値です。

（2）調理方式別実施状況

公立小・中学校（義務教育学校含む、以下同じ）における調理方式別実施状況は、学校数の比率で見ると、単独校調理場方式が33.4%、共同調理場方式が66.6%となっています。

区 分	単独校調理場方式		共同調理場方式		
	学校数(校)	比率 (%)	調理場数	学校数(校)	比率 (%)
平成29年度	182	33.4	76	363	66.6
(参考)平成28年度	186	34.0	76	361	66.0

(3) 米飯給食実施状況

完全給食を実施している公立小・中学校においては、すべての児童・生徒が米飯給食を受けています。

また、週当たりの平均実施回数は3.58回です。

区 分		平成29年度	(参考)平成28年度
実 施 率	学 校 数	100.0%	100.0%
	児 童 ・ 生 徒 数	100.0%	100.0%
週当たり 平均実施回数		3.51回	3.45回

(4) 学校給食費

保護者が負担する学校給食費（パン、米飯、牛乳、副食等の食材料費等）の平均月額額は、平成28年度に比べて小学校低学年・中学年・高学年で0.3%の減額、夜間定時制高等学校で4.5%の減額となっています。

区 分		平成29年度			(参考)平成28年度	
		給食回数	給食費月額	対前年度増減率	給食回数	給食費月額
小 学 校	低学年	201回	4,943円	△0.3%	202回	4,960円
	中学年	201回	5,008円	△0.3%	202回	5,022円
	高学年	201回	5,071円	△0.3%	202回	5,087円
中 学 校		199回	5,796円	0%	199回	5,796円
夜間定時制高等学校		177回	4,335円	△4.5%	180回	4,537円

(5) 栄養教諭・学校栄養職員配置状況

公立小・中学校（共同調理場含む）、特別支援学校、教育委員会の栄養教諭・学校栄養職員常勤数は292人で、平成28年度に比べて5人減少となっています。

なお、栄養教諭は115人で、2人減少となっています。

区 分	栄養教諭 (常勤)	学校栄養職員（常勤）			計
		公立小中	特別支援	教育委員会	
平成29年度	115人	154人	12人	11人	292人
(参考)平成28年度	117人	157人	12人	11人	297人

(6) 学校給食調理員配置状況

公立小・中学校（共同調理場含む）の学校給食調理員数（派遣職員含む）は、1,806人であり、平成28年度に比べて47人増加となっています。

また、学校給食調理員のうち、非常勤職員の比率は約40.0%となっており、平成28年度に比べ5.6%増加となっています。

区 分	常 勤		非 常 勤		計
	職 員 数	比 率	職 員 数	比 率	
平 成 29 年 度	1,083人	60.0%	723人	40.0%	1,806人(382人)
(参考)平成28年度	1,154人	65.6%	605人	34.4%	1,759人(368人)

() 内は派遣職員数で内数です。

(7) 学校給食用食器の使用状況

公立小・中学校の使用食器を材質別に見ると、ポリエチレンナフタレートが約69.9%と一番多く、次いでポリプロピレン、強化磁器となっています。（重複回答あり）

区 分	ポリエチレン ナフタレート	ポリプロピレン	強化磁器	耐熱ABS 樹脂	メラミン
平成29年度	381校(69.9%)	175校(32.1%)	71校(13.0%)	54校(9.9%)	48校(8.8%)
(参考)平成28年度	340校(62.2%)	229校(41.9%)	75校(13.7%)	58校(10.6%)	42校(7.7%)
区 分	シクロオレフィン ポリマー	アクリル	アルマイト	漆 器	ポリカーボネート
平成29年度	15校(2.8%)	16校(2.9%)	0校(0%)	3校(0.6%)	3校(0.6%)
(参考)平成28年度	15校(2.7%)	8校(1.5%)	7校(1.3%)	7校(1.3%)	6校(1.1%)